

A S E A N + 3 首脳会議議長声明（骨子）

- 過去20年にわたるA S E A N + 3協力の進展を満足の意をもって留意し、その将来の方向性について議論。この趣旨に基づき、「A S E A N + 3協力20周年に係るマニラ宣言」を発出。
- 「A S E A N + 3協力作業計画（2013－2017）」の履行の大きな進展に留意。本年8月のA S E A N + 3外相会議において、その改訂版となる「協力作業計画（2018－2022）」が採択されたことを歓迎。
- 「食料安全保障協力に関するA S E A N + 3首脳声明」を採択し、食料安全保障、食品安全、栄養の改善及び公平な分配を確保するとともに、地域における持続可能な開発を促進するために協働するそのコミットメントを再確認。
- 環境問題に関する協力の継続的進展に留意。環境協力の進展を目的とする日A S E A N環境協カイニシアティブを歓迎。
- A S E A Nの連結性を前進させる上での資金動員並びに質の高いインフラの重要性を認識しつつ、インフラの財政的な要請に対処し、質の高いインフラ投資を促進するための、アジア開発銀行（A D B）、アジアインフラ投資銀行（A I I B）、一帯一路（B R I）及び「質の高いインフラ輸出拡大イニシアティブ」の進捗に留意。
- 本年8月の日中韓文化大臣会合で採択された「2017京都宣言」に基づき、A S E A N文化都市と東アジア文化都市との間の都市レベルの交流の発展を期待。
- 日本が東アジア・アセアン経済研究センター（E R I A）との協力の下主導するアジア健康構想に関する更なる議論行うことを期待。
- A S E A Nと日中韓各国との間の貿易、投資、観光、教育及び人的・文化的な交流を促進するため、日本アセアンセンター、韓国A S E A Nセンター及び中国A S E A Nセンターの潜在的可能性を最大化していくことで一致。
- 朝鮮半島の緊張の高まりに対する深刻な懸念が表明され、複数の首脳が、国連安保理決議に違反し、地域及び国際の平和と安定を脅かす、北朝鮮が現在も実施している核兵器と弾道ミサイル技術の開発を非難。この観点から、北朝鮮に対し、すべての関連安保理決議の下での義務を即時かつ完全に遵守するよう強く求めた。これは非核化のための真剣な対話に戻るための重要な一歩となり得る。
- 国連安保理決議の履行と関連する不拡散分野の協力について緊密に連携することを約束。地域の平和と安全保障の重要性を再確認し、平和的な方法による、完全な、検証可能な、かつ、不可逆的な朝鮮半島の非核化への支持を改めて表明。拉致問題を含む国際社会の人道上の懸念に対処することの重要性を強調。
- 朝鮮半島における恒久的な平和の確立に向けた北朝鮮と韓国との関係を改善するイニシアティブへの支持を表明。来る冬の平昌冬季五輪が朝鮮半島における平和と安定を促進する有益な機会となり得るという認識を共有。